

自転車競技でオリンピック出場決定！



4月8日、自転車競技でリオデジャネイロオリンピック出場を決めた塚越さくら選手を祝う「懸垂式」と「電光掲示板の点灯式」が市役所で行われました。塚越選手は3月に鹿屋体育大学大学院を卒業し、現在は鹿屋市に拠点を置く自転車チーム「CIEL」所属。塚越選手は「鹿屋の皆さんのおかげで勝ち取れたオリンピックです。応援をよろしくお願いします」と話しました。

灯ろう流しで特攻隊員を偲ぶ



4月2日、リナシティかのや周辺で「特攻隊員を偲ぶ市民の集い」・「灯ろう流し」が行われました。当日は、特攻隊員の遺書の朗読が行われた後、特攻隊員として鹿屋から出撃し帰還した、広島県在住の柳井和臣さん(94歳)が当時の思いを出を披露。その後、肝属川で灯ろう流しが行われ、参加者は特攻隊の部隊名が書かれた灯ろうの光を眺めながら、特攻隊員を偲び、恒久平和を祈っていました。

広域観光の推進に期待



4月11日、市役所で「大隅広域観光コーディネーター」に就任した石田 彦さんに委嘱状が交付されました。任期は4月1日から1年間。石田さんはこれまで、東京・お台場の「アークアシティ」や福岡・門司港レトロ地区にある「海峡フラザ」等の企画・開発業務とまちづくりに従事した経験があり、今後大隅半島全体の広域観光の推進が期待されます。

高齢者のために踏み台を寄贈



4月11日、市役所で「在宅高齢者用踏み台贈呈式」が行われ、鹿屋建具木工組合から市に踏み台45台が寄贈されました。これは平成13年度から同組合が足腰の弱い高齢者に、玄関や台所などで活用してもらうことを行っているもの。高齢者代表として贈呈式に出席した富永美枝さん(84歳)は「大変ありがたい。大事に使いたい」と話していました。

横浜のバラ園と友好協定を結ぶ



4月28日、かのやばら園で、バラ育種家の河合伸志氏が所属する「横浜イングリッシュガーデン」との「友好協定締結式」が行われました。この協定は、かのやばら園の全国への発信力と栽培技術の向上を図るため結んだもの。また、この日は「かのやばら祭り2016春」オープニングセレモニーも行いました。かのやばら祭りは6月5日まで開催しています。

地域の皆さんに恩返し



4月11日、大隅肝属地区消防組合で、「輝北高規格救急自動車配備式」が行われました。これは、株式会社森建設(輝北町上引町)が、会社設立60周年を機に、これまで協力いただいた地元の皆さんに恩返しをしたいと同組合に2,300万円を寄付し、救急車や自動心臓マッサージ器などの救急装備品を整備したものの、救急車は式典後、早速、輝北町署に配備されました。

2016くしら桜まつり



3月25日から4月3日にかけて、串良平和公園で「2016くしら桜まつり」が開催されました。4月3日には、「第31回くしら桜まつりジョギング大会」を開催。4コースに約45人がエントリーし、桜並木の下で健脚を競いました。また、期間中は夜桜のライトアップや歩行者天国も行われ、市内外から多くの家族連れなどにぎわいました。

山王どんで「輝北畜産まつり」



4月10日、「山王どん」の愛称で親しまれている輝北町の日枝神社で「輝北畜産まつり」が開催されました。当日は、カラオケ歌謡ショーや舞台演芸が披露されたほか、毎年恒例となっている牛・馬の神様を祭る日枝神社ならではの「血統書付き黒毛和牛の子牛」が当たる抽選会も行われ、当選者が発表されると、会場から大きな歓声があがっていました。

ハイキングで春の空気を楽しむ



4月29日、輝北つわば公園で「輝北グリーンハイキング」が開催されました。このハイキングは、この時期ならではの新緑と輝北つわば公園の絶景を満喫してもらおうと毎年行われているもの。市内外から参加した140人は、澄みきった青空の下、濃さを増した木々の緑や通り抜ける風を楽しみながら、さわやかな汗を流していました。

全国優勝の栄冠に輝く



4月11日、鹿屋中央高校レスリング部の選手、監督らが市役所を訪れました。これは、3月に行われた「第59回全国高校選抜レスリング大会」で、鹿児島県勢として38年ぶり、同校としては悲願の初優勝を果たしたことから行われたもの。この日は、優勝トロフィーやメダルを胸に、練習での苦勞や初優勝の喜びなどを報告しました。

産科医師不足に朗報



大久保将礼医師



4月13日、市役所で「大隅4市5町保健医療推進協議会総会」が開催されました。同協議会は平成26年7月の設立以降、産科医師確保に取り組んでおり、総会では4月から大隅地域に、大久保将礼医師(産婦人科・常勤)と、3月に鹿児島大学医学部教授を返官した堂地勉(勉)医師(県民健康プラザ鹿屋医療センター)・非常勤の2人が着任することが報告されました。